

第32回土佐室戸鯨舟競漕大会開催要項

○開催趣旨

室戸市の捕鯨の歴史と鯨の食文化を後世に残すために、有志の努力により再現した鯨舟で競漕を行い、広く人々の親睦と健康と体力づくりを図り、室戸市の活性化と交流人口増加の一助として四国・高知と「くじらの里室戸」の名前を全国に発信する。

○主催

マリンフェスティバル室戸実行委員会

○共催

室戸市・室戸市商工会・室戸市商工会青年部・国立室戸青少年自然の家
※その他関係団体等のご後援・ご協力をいただいで開催します。

1. 日 時 令和元年7月14日(日) 午前8時45分から
※大会に先立ち、開会式を行います。
2. 場 所 室戸岬漁港新港（海の駅「とろむ」）
3. 参加申込 大会実行委員会に所定の申込書で、期日までに申込むこと。
チーム代表者は、事前に競技参加者の名簿を大会運営委員会に提出するものとする。
4. 参加申込及び問い合わせ先（事務局）
室戸市観光ジオパーク推進課（室戸世界ジオパークセンター内）
〒781-7101 室戸市室戸岬町1810番地2
TEL 22-5161 FAX 23-1618
5. 参加申込締切 6月28日（金） 必着のこと
6. 参加料 1名につき500円（保険料を含む）
※参加料は、申込み時に納入すること。
※おつりが出ないようにお願いします。
※ダンボール舟については、参加料とは別に
1チーム1, 200円（材料費含む）
7. 参加資格 全種目とも泳ぎのできる人であって、各種目の規定を満たしていること。小学生の場合は、保護者又は、保護者に準ずる者が必ず同じ競技に参加すること。
8. チーム編成 1チームの人数は、レースごとに定める。
地域・職域・クラブ等有志で、編成してください。

9. レース種目

◎古式鯨舟レース

中学生以上の男女で、1チーム17名以内。
艦8本を使用し、櫂（かい）の使用は認めない。
タイムレースとし、順位を決定する。
距離 約500m
※ 天候等のため、レース距離を短くする場合があります。

◎一般鯨舟レース

20名以内の泳ぎのできる人で、チームを編成する。
レースは、男子と女子の部の2種類とする。但し女子の部は、安全確保のため、男子3名迄の乗船を認める。
(男子がとも艦を漕ぐことは可)
必ずライフジャケット着用のこと。(主催者が準備)
艦（ろ）の使用は1本で、他の乗員は櫂（かい）を使用する。
タイムレースとし、上位から順位を決定する。
距離 約500m
※ 天候等のため、レース距離を短くする場合があります。

◎子ども鯨舟レース

20名以内（大人も含む）の小学生の泳ぎの出来る人でチームを編成する。(保護者の同意が必要)
安全上大人の参加が必要です。(3名以内)
櫂（かい）を使用するが、艦1本使用も可。
必ずライフジャケット着用のこと。(主催者が準備)
舵取りがない場合、舵取りは主催者側で選任。
タイムレースとし、上位から順位を決定する。
距離 約500m
※ 天候等のため、レース距離を短くする場合があります。

◎ダンボール舟レース

大人も参加できますが、賞の対象にはなりません。
1チーム2名以内で、泳ぎの出来る子ども。
ダンボールは、主催者が用意します。
ダンボール舟は大会当日までに作製し、当日会場へ持参すること。
ライフジャケット着用のこと。(主催者が準備)
子どものみの参加申込は、保護者が提出すること。
距離 約70m

10. 表彰

各レースの優勝チームには、大会優勝旗・勇魚賞・知事杯・市長杯・議長杯・その他をもって栄誉を讃え賞状等を授与する。
※大会優勝旗・勇魚賞・知事杯・市長杯・議長杯は持ち回りとする。

1 1. 世話役

競技参加チームの代表者は、本大会の世話役をお願いします。

1 2. 練習

- ①練習のための鯨舟使用は、指定された期間中の日時を事前に事務局に連絡し、許可を得ること。
- ②朝の練習時間は、午前7時から午前8時まで、夕方の練習時間は、午後5時30分から日没までとする。ただし、管理人がいないので、各使用チームが責任を持って管理すること。
- ③練習時間は、1チーム約30分とする。
- ④練習中に舟の破損その他損害が生じた時は、チームで弁済すること。
- ⑤他の船舶の進路を妨げないこと。

1 3. その他

- ①競技参加チームの責任者は、競技参加者の練習、大会の全ての行動に責任を負うものとする。
- ②競技参加者は、全員開会式と閉会式に参加すること。
- ③競技参加者の服装は自由とするが、身軽なものを着用すること。
- ④リズムをとるための鐘、太鼓その他、他のチームの迷惑にならない範囲での使用は自由とする。
- ⑤大会中止の決定は、当日午前6時とする。

問い合わせ先は大会当日のみ

090-3460-7920 (委員長 米澤)

090-3181-7931 (副委員長 劔物)

- ⑥競技開催中の負傷又は、疾病には大会本部で応急処置を行なうがその後の責任については、一切の責めを負わない。
- ⑦競技の組み合わせについては、大会実行委員会で決定する。
- ⑧レース中制限時間内にゴール出来ない場合や、レースが危険と思われる時、安全確保のため舟を曳航する場合があります。
- ⑨競技規則は、別途に定めます。
- ⑩申込み人数を大幅にこえる乗船は(10名申込みで20名乗船など)は禁止させていただきます。(保険で保証できないため)
- ⑪荒天(雨天及び強風等)の場合は中止とさせていただきます。